

葉山町公共施設等将来構想



令和7年6月

葉 山 町

～ 目 次 ～

第1章 葉山町公共施設等将来構想の概要	1
1 葉山町の公共施設等の関連計画	1
2 葉山町公共施設等将来構想	1
3 検討の経緯	2
4 目的	3

第2章 葉山町の公共施設の現状と対象施設	4
1 施設の総量	4
2 施設の老朽化状況	4
3 施設全体の維持管理費	5
4 対象施設等	6

第3章 公共施設等の将来を考える上での3つの基本方針	9
基本方針① 人口推計を踏まえた計画的な公共施設の適正配置の実施	10
基本方針② 施設の老朽化状況を踏まえた、安全・安心な公共施設の維持	11
基本方針③ 将来の財政状況を見据えた持続可能な公共施設の運営	12

第4章 各施設の方向性と将来像	15
1 近い将来見直しの必要がある施設	15
a 堀内会館	16
b 福祉文化会館	17
c 旧役場跡地（未利用町有地）	18
d 学校施設（小中一貫校）	19
2 その他の施設等	20

【資料編】

資料1 FM会議の組織図

資料2 葉山町の公共施設等に関するアンケート調査結果

第1章 葉山町公共施設等将来構想の概要

1 葉山町の公共施設等の関連計画

葉山町（以下、「本町」といいます。）は、東京都心から約 50 km、横浜市の中心部から約 20 km、神奈川県三浦半島西部に位置する面積約 17.04 km²の町です。

これまで、本町では人口増加に伴う社会的ニーズの高まりなどに合わせ、庁舎や学校などの公共施設や、道路、橋梁などのインフラの整備を行いましたが、現在は、多くの施設等で老朽化が進んでおり、施設の更新（建替）や改修などの必要性に迫られています。このような状況において、本町では、公共施設について、現状を把握し、維持保全の課題を明らかにするため、平成 26 年 3 月に「葉山町公共施設白書」を策定しました。その後、推計ソフトを用いた将来推計等を行い、社会基盤施設（インフラ）も含めた公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定めた「葉山町公共施設等総合管理計画」を平成 29 年 3 月に策定しました。さらに翌年 3 月には、「葉山町公共施設等総合管理計画」（以下、「公共施設等総合管理計画」といいます。）に基づき、平成 30 年度から 7 か年の計画を定めた「葉山町公共施設等総合管理計画第一次実施計画」を策定しました。

2 葉山町公共施設等将来構想

令和元年 5 月には、老朽化が進む下水道施設及びインフラ施設等を除く公共施設等の方向性を庁内で横断的に検討するため、「葉山町ファシリティマネジメント会議」（以下、「FM 会議」といいます。）を設置し、各部等の長を中心とした議論や各施設チームによる検討等を行い、令和 4 年 3 月には、町制 100 周年を迎える令和 7 年 1 月までの暫定的な公共施設等の方針として「葉山町公共施設等保有・保全の方針」（以下、「保有・保全の方針」といいます。）を策定しました。

「葉山町公共施設等将来構想」（以下、「本構想」といいます。）は、「公共施設等総合管理計画」や「保有・保全の方針」でお示しした基本的な方針等をより具体化するために、「FM 会議」において、下水道施設及びインフラ施設等を除く現存の公共施設等の今後の方向性について検討を行った結果、これからの葉山町の公共施設等の姿をお示しするものです。

なお、本構想は具体的なスケジュールは記載していませんが、実現に向けた具体的な手順などは引き続き議論していきます。

3 検討の経緯

本構想の検討にあたっては、主に前述しました「FM会議」において、議論を重ねてきました。検討内容については、次の表のとおりです。

なお、今後に関しては、本構想を基本としながら、議会や町民の皆様からご意見をいただき、現存する公共施設等の方向性を定めます。

時期	内容
令和元年 5 月	「FM会議」を設置
令和 2 年 3 月	みんなの公共施設未来プロジェクト(劣化診断調査等) 支援業務委託完了 (実施時期：令和元年 7 月～令和 2 年 3 月)
	稼働状況調査報告書完成 (実施時期：平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日)
令和 3 年 5 月	FM会議の体制変更 →事業本部、各施設チーム（4 チーム）の設置
令和 3 年 5 月～ 令和 4 年 3 月	FM会議において、各施設チームの検討を進める (令和 3 年度 FM 会議開催回数：7 回)
令和 4 年 3 月	「保有・保全の方針」の公表 (議員懇談会：令和 4 年 3 月 23 日)
令和 4 年 4 月	FM会議の体制変更 →効率的な検討を行うべく、体制の見直しを行った
令和 4 年 5 月～ 令和 5 年 3 月	FM会議において、保有・保全の方針を深化するべく、検討を進める (令和 4 年度 FM 会議開催回数：3 回)
令和 4 年 4 月	FM会議の体制変更 →横断的な議論を実施するため、「チーム間連携会議」を設置
令和 5 年 4 月～ 令和 6 年 3 月	FM会議において、横断的な議論や意見交換会の内容等を含めた検討を進める (令和 5 年度 FM 会議開催回数：10 回)
令和 5 年 7 月～ 令和 5 年 8 月	「将来の公共施設・学校・公園を考える意見交換会」の実施 (開催回数：5 回)
令和 5 年 9 月	「将来の公共施設・学校・公園を考える意見交換会」の報告 (議員懇談会：令和 5 年 9 月 28 日)
令和 5 年 11 月	「堀内会館と旧葉山はばたきに係る意見交換会」（第 1 回）の実施
令和 6 年 4 月	FM会議の体制変更 →4 つの施設チームを「学校再整備チーム」と「その他施設チーム」に変更

時期	内容
令和6年4月～ 令和7年3月	F M会議において、主に、小中一貫校整備や本構想の公表に向けた検討を進める (令和6年度F M会議開催回数：5回)
令和6年5月	「堀内会館と旧葉山はばたきに係る意見交換会」(第2回)の実施
令和6年7月	「堀内会館と旧葉山はばたきに係る意見交換会」の報告 (議員懇談会：令和6年7月24日)
令和7年6月	「葉山町公共施設等将来構想」の公表 (議員懇談会：令和7年6月20日)

4 目的

本構想は、「安全・安心で魅力的な公共施設の持続可能な運営を実現する」ことを目的としています。

そのためには、施設の機能・価値を高める“バリューアップ”と、公共施設の総面積を縮小させる“ダウンサイジング”の両面から検討を進める必要があります。

【目的】

安全・安心で魅力的な公共施設の持続可能な運営を実現する

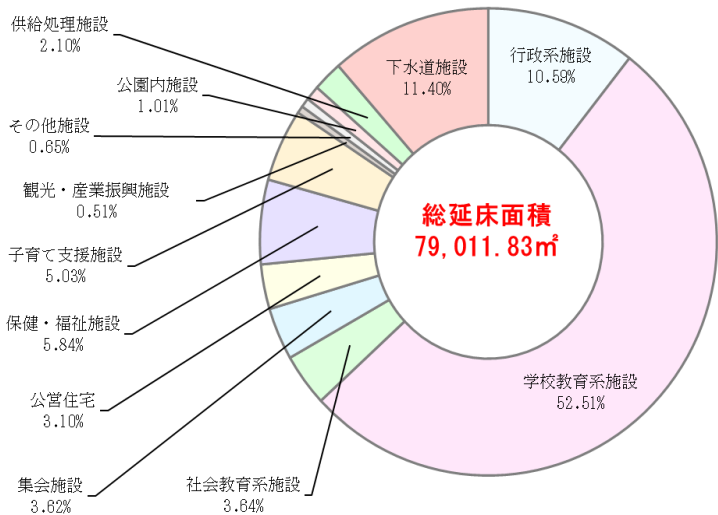
第2章 葉山町の公共施設の現状と対象施設

第2章では、施設の総量、老朽化状況及び維持管理費を示し、本構想における対象施設等を一覧にしています。

1 施設の総量

次の図は、施設類型ごとの割合を示したものであり、学校教育系施設が最も割合が高く、次いで下水道施設、行政系施設が多く割合を占めています。

図1 施設類型ごとの割合



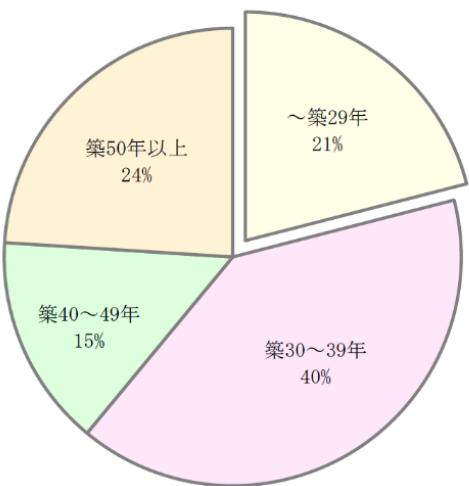
No.	施設類型	施設
1	行政系施設	役場庁舎・消防庁舎等
2	学校教育系施設	小学校・中学校
3	社会教育系施設	図書館等
4	集会施設	町内会館等
5	公営住宅	平松住宅・滝の坂住宅
6	保健・福祉施設	保健センター・福祉文化会館
7	子育て支援施設	児童館等
8	観光・産業振興施設	公衆トイレ等
9	その他施設	防災倉庫等
10	公園内施設	－
11	供給処理施設	クリーンセンター等
12	下水道施設	浄化センター等

資料：公共施設等総合管理計画（平成29年3月）

2 施設の老朽化状況

次の図は、令和5年度末時点における施設の築年数の割合を示したものであり、築30年～39年の施設が40%と最も高く、役場庁舎や福祉文化会館等が含まれます。全体として築30年以上の施設が約80%を占めており、老朽化が進行していることがわかります。

図2 老朽化状況の割合



※図1のNo. 1～7のみ集計

築年数	施設
～築29年	・教育総合センター ・消防庁舎 ・青少年会館 等
築30～39年	・役場庁舎 ・保健センター ・福祉文化会館 ・滝の坂住宅 ・平松住宅 等
築40～49年	・長柄小学校 ・葉山中学校 ・南郷中学校 ・図書館 等
築50年以上	・葉山小学校 ・上山口小学校 ・一色小学校 ・一色いこいの家 ・堀内いこいの家 ・子育て支援センター（ぼけっと） 等

資料：公共施設等総合管理計画（追補版）（令和6年3月）

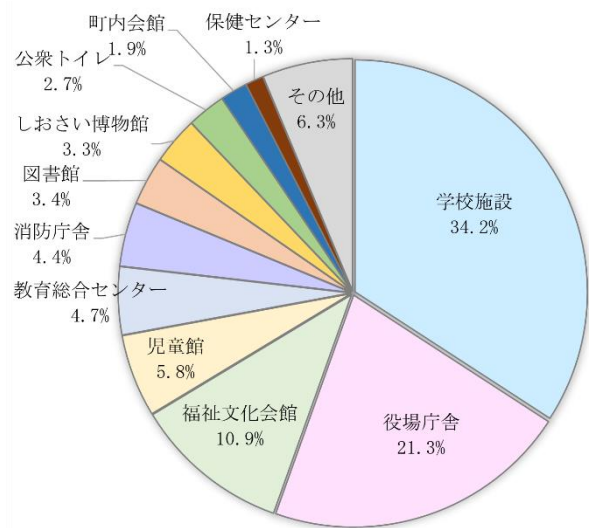
3 施設全体の維持管理費

次の図は、令和5年度における施設の運営や維持管理に係る経費（光熱水費、修繕料、保守点検委託料等を対象とし、人件費は含みません。）を示したものです。

施設の維持管理経費の合計額は290,959千円となっており、施設類型ごとの維持管理経費は、学校施設が34.2%と最も高い割合を占めています。次いで、役場庁舎、福祉文化会館が多く割合を占めます。

なお、一般会計に係る経費のみ記載しており、事業会計に係る経費は含みません。

図3 施設の維持管理費の割合



No.	施設名称	維持管理費（千円）
1	学校施設	99,444
2	役場庁舎	61,885
3	福祉文化会館	31,711
4	児童館	16,741
5	教育総合センター	13,732
6	消防庁舎	12,940
7	図書館	9,834
8	しおさい博物館	9,503
9	公衆トイレ	7,762
10	町内会館	5,491
11	保健センター	3,661
12	その他	18,255
合 計		290,959

資料：公共施設等総合管理計画（追補版）（令和6年3月）

4 対象施設等

本構想における対象の公共施設等は、次の表のとおりです。

なお、本構想においては、下水道施設及びインフラ施設等は対象としていません。

対象公共施設等 ※1					
No.	カテゴリー	施設名	築年※2	構造※3	備考
1	行政系施設	葉山町役場庁舎	39	RC 造	
2		教育総合センター	17		複合施設
3		葉山町消防庁舎	27		
4		消防第1分団詰所	33	S 造	
5		消防第2分団詰所	25		
6		消防第3分団詰所	26		複合施設
7		消防第4分団詰所	23		
8		消防第5分団詰所	21		
9		消防第6分団詰所	7		
10	学校施設	葉山小学校	53	RC 造	
11		上山口小学校	51		
12		長柄小学校	48		
13		一色小学校	55		
14		葉山中学校	41		
15		南郷中学校	43		
16	社会教育系施設	図書館	43	RC 造	
17		葉山しおさい博物館	37		
18	集会施設	木古庭会館	33	RC 造	複合施設
19		上山口会館	29	RC 造	複合施設
20		下山口会館	26	S 造	複合施設
21		一色岡会館	38	W 造	
22		一色第2岡会館	31	W 造	
23		真名瀬会館	33	RC 造	
24		木ノ下会館	35	W 造	複合施設
25		元町会館	35	S 造	複合施設
26		葉桜会館	23	S 造	複合施設
27		イトーピア会館	45	W 造	
28		長柄下会館	—	—	借上げ施設 ※4
29		一色いこいの家	58	W 造	
30		堀内いこいの家	60	W 造	
31		堀内会館	—	—	
32	町営住宅	滝の坂住宅	33	RC 造	
33		平松住宅	31		

対象公共施設等 ※1					
No.	カテゴリー	施設名	築年※2	構造※3	備考
34	保健・福祉施設	保健センター	36	RC 造	
35		福祉文化会館	35		
36	子育て支援施設	木古庭児童館	33	RC 造	複合施設
37		上山口児童館	29	RC 造	複合施設
38		下山口児童館	26	S 造	複合施設
39		元町児童館	35	S 造	複合施設
40		葉桜児童館	23	S 造	複合施設
41		芝崎児童館	26	RC 造	
42		青少年会館	11	W 造	
43		子育て支援センター (ぼけっと)	51	RC 造	
44		たんぼぼ教室	17	RC 造	複合施設
45		保育園	17	RC 造	複合施設
46	都市公園内施設	南郷上ノ山公園	39	RC 造	
47		葉山しおさい公園	37	W 造	
48	未利用施設 未利用町有地	旧葉山はばたき	35	S 造	
49		旧役場跡地	—	—	
50		堀内防災広場	—	—	
51		長柄ゲートボール場 (仮称)	—	—	

※1 公衆用トイレ、防災倉庫、バス停等のその他の公共施設は本構想の対象外としています。

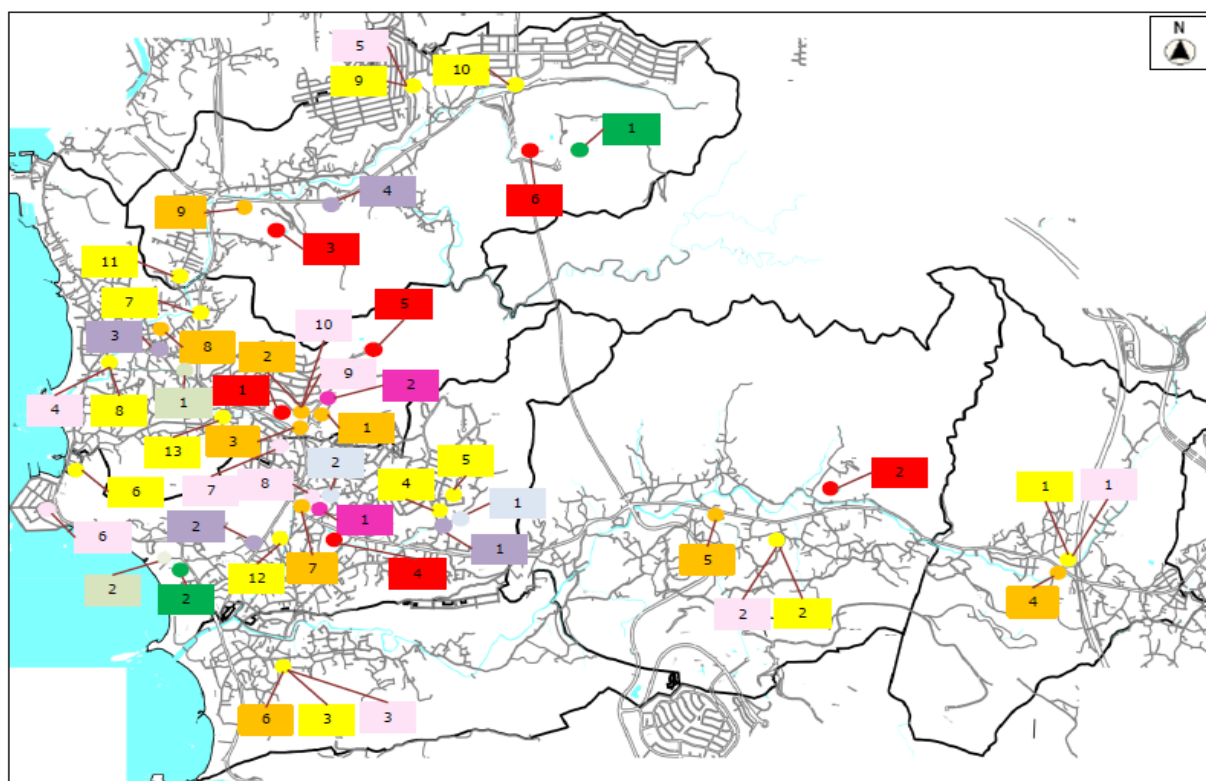
※2 令和6年3月31日時点の築年数を記載しています。

※3 構造については、次のとおりです。

RC 造＝鉄筋コンクリート造 S 造＝鉄筋造 W 造＝木造

※4 長柄下会館については、建物及び土地のどちらも町所有ではありませんが、町の集会施設として利用しています。

図4 本構想の施設配置図



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
行政系施設		5	葉山中学校	10	イトーピア会館	5	葉桜児童館
1	葉山町役場庁舎	6	南郷中学校	11	長柄下会館	6	芝崎児童館
2	教育総合センター	社会教育系施設		12	一色いこいの家	7	青少年会館
3	葉山町消防庁舎	1	図書館	13	堀内いこいの家	8	子育て支援センター
4	消防第1分団詰所	2	葉山しおさい博物館	町営住宅		9	たんぼぼ教室
5	消防第2分団詰所	集会施設		1	滝の坂住宅	10	保育園
6	消防第3分団詰所	1	木古庭会館	2	平松住宅	都市公園内施設	
7	消防第4分団詰所	2	上山口会館	保健・福祉施設		1	南郷上ノ山公園
8	消防第5分団詰所	3	下山口会館	1	保健センター	2	葉山しおさい公園
9	消防第6分団詰所	4	一色岡会館	2	福祉文化会館	未利用施設・未利用町有地	
学校施設		5	一色第2岡会館	子育て支援施設		1	旧葉山はばたき
1	葉山小学校	6	真名瀬会館	1	木古庭児童館	2	旧役場跡地
2	上山口小学校	7	木ノ下会館	2	上山口児童館	3	堀内防災広場
3	長柄小学校	8	元町会館	3	下山口児童館	4	長柄ゲートボール場 (仮称)
4	一色小学校	9	葉桜会館	4	元町児童館		

(令和7年5月現在)

第3章 公共施設等の将来を考える上での3つの基本方針

個別の公共施設の方向性を定める前提として、3つの基本方針を定めます。この基本方針は、公共施設再編の核となる考え方となり、第4章には次の基本方針に沿った各施設の方向性を示しています。

図5 公共施設の将来を考える上での3つの基本方針



1つ目の基本方針は、「人口推計を踏まえた計画的な公共施設の適正配置の実施」です。人口減少、少子高齢化が全国的に進行し、右肩上がりの成長を目指す社会から持続可能な社会への転換など、社会・経済情勢は大きく変化しており、本町も例外ではありません。一方で、多くの人々に愛される自然豊かな葉山の魅力は、長年の町民活動や町民のまちに対する想いにより支えられてきたものであることを十分に認識し、地域コミュニティの活動を妨げるような公共施設の再編はあってはなりません。これまでにない新たな視点を持って取り組み、計画的かつ適正な公共施設の再編を目指します。

2つ目の基本方針は、「施設の老朽化状況を踏まえた、安全・安心な公共施設の維持」です。本町では、築30年以上の施設が約80%を占め、老朽化が進行している状況です。適切な時期に、適切な修繕や更新（建替）を検討します。

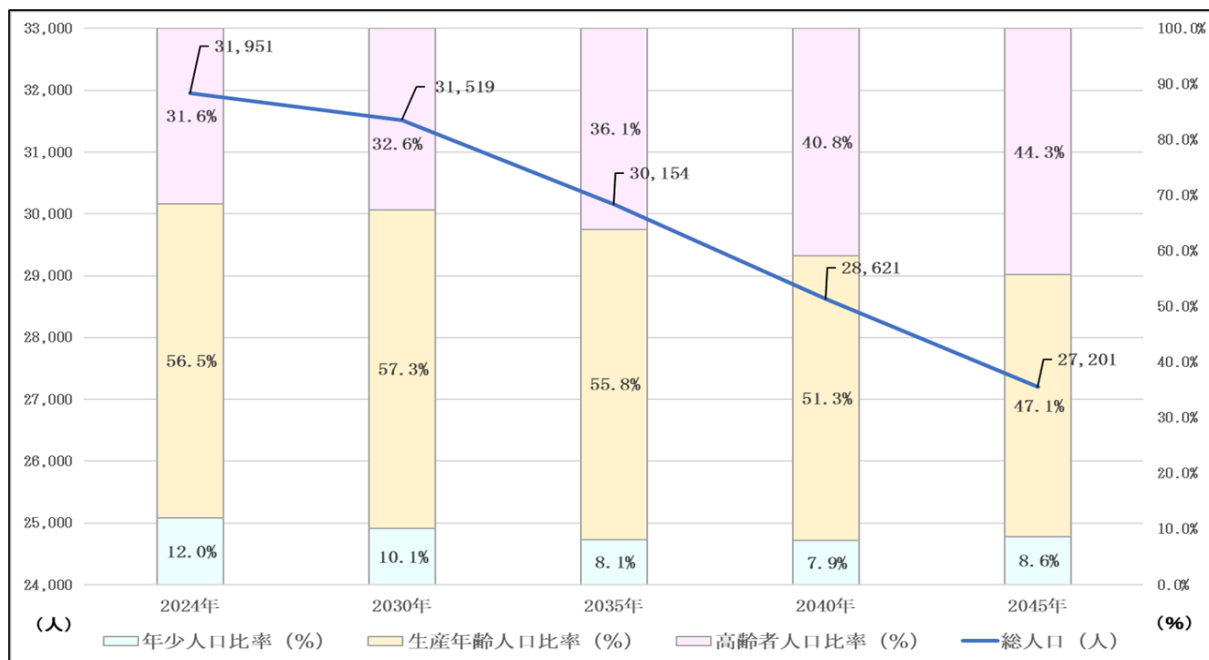
3つ目の基本方針は、「将来の財政状況を見据えた持続可能な公共施設の運営」です。1つ目の基本方針でも触れましたが、人口減少、少子高齢化の影響により、今後、税収の減少と扶助費の増加が見込まれます。今よりも厳しい財政状況になることが予想されることを踏まえ、どのように公共施設を運営していくかという大きな課題に向き合っていく必要があります。

基本方針① 人口推計を踏まえた計画的な公共施設の適正配置の実施

次の図は本町の2024年から2045年までの人口推計の結果です。2024年（令和6年）時点では31,951人であった人口が2045年（令和27年）には27,201人まで減少する見込みとなっています。減少割合で言うと21年間で約15%、減少人数では4,750人となります。

年齢3区分構成比の変化を見ると21年間で高齢人口は約12.7%増、一方の年少人口は約3.4%減となる見込みで本町も少子高齢化の傾向になる見込みであることがわかります。

図6 2045年までの人口推計（人口及び年齢3区分構成比）



	2024年(R6)年 【基準年度】	2030年 (R12年)	2035年 (R17年)	2040年 (R22年)	2045年 (R27年)
総数	31,951	31,519	30,154	28,621	27,201
減少率	100.0%	98.6%	94.4%	89.6%	85.1%
年少人口	3,823	3,178	2,433	2,249	2,336
生産年齢人口	18,040	18,058	16,829	14,684	12,819
高齢者人口	10,088	10,283	10,892	11,689	12,046

※第5次葉山町総合計画の人口推計に基づく数値です。

➡ 21年間で約15%（4,750人）人口が減少する見込み

人口が減少するということは、公共施設を利用する人が少なくなることに加え、個人の公共施設の維持に関する経費負担が増えることになります。そのため、この人口推計の結果も踏まえた上で、公共施設の再配置を考える必要があります。人口が減少していくことが見込まれる状況において、稼働率が低く老朽化が進行する施設を維持していくことは適当でない場合もあります。現状の公共施設を維持してだけでなく、より使いやすく魅力的な施設とするための再配置を実施します。

基本方針② 施設の老朽化状況を踏まえた、安全・安心な公共施設の維持

次の図は令和元年度に実施した主要 14 施設の劣化診断調査の結果です。調査の結果、多くがC評価（広範囲に劣化している。）またはD評価（早急に対応する必要がある。）の判定となり、実際に老朽化が進行していることがわかります。なお、D評価の部位に関しては、すでに修繕や改修を実施していますが、施設の方角性を定めた上で、中長期的な個別施設計画を策定し、計画的な修繕・改修に努めます。

図 7 みんなの公共施設未来プロジェクト(劣化診断調査等)
支援業務委託の結果（令和元年度実施）

建物情報一覧表

■:築50年以上

□:築30年以上

基準 2019

A:優良良好

C:広範囲に劣化

B:部分的に劣化

D:早急に対応する必要がある

建物基本情報														構造躯体の健全性				劣化状況評価						備考		
通し番号	学校 課番号	施設名	建物名	棟番号	固定 資産 台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点満点)			
						学校種 別	建物用途				基準	診断	補強	調査 年度	評価 強度 (N/㎡)	試算上 の区分	調査 年度								評価 強度 (N/㎡)	試算上 の区分
通し 番号	学校 課番号	施設名	建物名	棟番号	固定 資産 台帳 番号	学校種 別	建物用途	構造	階数	延床面 積	西暦	和暦	築年 数	基準	診断	補強	調査 年度	評価 強度	試算上 の区分	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)	備考
1	1	雲山小学校	校舎(教室棟)	1	1	小学校	校舎	RC	3	2,557	1971	S46	46	旧	済	済	2001	-	改善	D	D	C	C	C	29	H2002 補強済
2	2	雲山小学校	校舎(管理・教室棟)	2	2	小学校	校舎	RC	3	2,511	1972	S47	47	旧	済	済	2001	-	改善	D	D	C	C	C	29	H2002 補強済
3	3	雲山小学校	体育館	3	3	小学校	体育館	S	2	760	1973	S46	46	旧	済	済	-	-	改善	B	B	D	C	C	42	H2007 補強済
4	4	雲山小学校	給食室	4	4	小学校	給食センター	RC	1	294	1978	S53	41	旧	-	-	-	-	要調査	C	C	C	C	C	40	新築化未確認
5	5	雲山小学校	プール付農機	5	5	小学校	その他	RC	1	89	1975	S50	44	旧	-	-	-	-	要調査	D	D	C	C	C	29	新築化未確認
6	6	上山口小学校	校舎(教室棟)	6	6	小学校	校舎	RC	3	830	1979	S54	40	旧	済	済	1996	-	要調査	B	C	C	C	C	43	H2006 補強済
7	7	上山口小学校	校舎(管理・教室棟)	7	7	小学校	校舎	RC	3	2,851	1972	S47	47	旧	済	済	2004	-	要調査	B	C	C	C	C	43	H2006 補強済
8	8	上山口小学校	体育館	8	8	小学校	体育館	S	2	759	1977	S52	42	旧	済	済	2008	-	要調査	D	C	D	C	C	26	H2010 補強済
9	9	上山口小学校	給食室	9	9	小学校	給食センター	RC	1	180	1974	S49	45	旧	-	-	-	-	要調査	C	D	C	C	C	31	新築性あり
10	10	上山口小学校	プール付農機	10	10	小学校	その他	RC	1	90	1978	S53	41	旧	-	-	-	-	要調査	D	B	B	C	C	6	新築化未確認
11	11	長瀬小学校	校舎(管理・普通教室・トイレ棟)	11	11	小学校	校舎	RC	3	4,868	1976	S51	43	旧	済	済	2007	-	要調査	A	D	D	C	C	25	H2009 補強済
12	12	長瀬小学校	校舎(音楽・図書棟)	12	12	小学校	校舎	RC	3	577	1980	S55	39	旧	済	済	2007	-	要調査	A	D	D	C	C	26	H2009 補強済
13	13	長瀬小学校	体育館	13	13	小学校	体育館	S	2	1,002	1979	S54	40	旧	済	済	1997	-	要調査	D	B	D	C	C	36	H2009 補強済
14	14	長瀬小学校	プール付農機	14	14	小学校	その他	RC	1	143	1977	S52	42	旧	-	-	-	-	要調査	D	D	B	C	C	42	新築化未確認
15	15	長瀬小学校	渡り廊下	15	15	小学校	その他	S	2	83	1991	H3	28	新	-	-	-	-	要調査	A	D	C	C	C	37	
16	16	一色小学校	校舎(管理・教室棟)	16	16	小学校	校舎	RC	3	4,652	1969	S44	50	旧	済	済	1995	-	要調査	B	C	C	C	C	43	H2003 補強済
17	17	一色小学校	校舎(音楽・図書棟)	17	17	小学校	校舎	RC	3	990	1977	S52	42	旧	済	済	2011	-	要調査	B	C	C	C	C	43	H2013 補強済
18	18	一色小学校	体育館	18	18	小学校	体育館	S	2	1,020	1995	H7	24	新	済	済	1996	-	要調査	C	D	C	C	C	31	
19	19	一色小学校	プール付農機	19	19	中学校	その他	RC	1	57	1983	S58	36	新	-	-	-	-	要調査	C	C	B	C	C	53	新築化未確認
20	20	雲山中学校	校舎	20	20	中学校	校舎	RC	3	6,851	1983	S58	36	新	-	-	-	-	要調査	D	D	C	C	C	29	
21	21	雲山中学校	体育館	21	21	中学校	体育館	RC	2	1,281	1984	S59	35	新	-	済	-	-	要調査	D	B	C	C	C	48	
22	22	雲山中学校	プール付農機	22	22	中学校	その他	RC	1	231	1983	S58	36	新	-	-	-	-	要調査	C	B	C	C	C	30	
23	23	南郷中学校	校舎	23	23	中学校	校舎	RC	3	5,533	1981	S58	38	旧	済	済	2008	-	要調査	A	D	C	C	C	57	H2010 補強済
24	24	南郷中学校	体育館	24	24	中学校	体育館	RC	2	1,318	1982	S57	37	新	済	済	2006	-	要調査	B	D	C	C	C	34	H2010 補強済
25	25	南郷中学校	プール付農機	25	25	中学校	その他	RC	1	168	1981	S58	38	旧	-	-	-	-	要調査	B	D	A	C	C	57	新築化未確認
26	26	雲山町役場本庁舎	雲山町役場本庁舎	26	26	その他	その他	RC	4	5,022	1984	S59	35	新	-	-	-	-	要調査	C	B	B	B	C	68	
27	27	福祉文化会館	福祉文化会館	27	27	その他	その他	RC	3	3,822	1988	S63	31	新	-	-	-	-	要調査	C	D	B	B	C	49	
28	28	保健センター	保健センター	28	28	その他	その他	RC	1	617	1987	S62	32	新	-	-	-	-	要調査	A	B	B	B	A	80	
29	29	町営海の駅住宅 A	町営海の駅住宅 A	29	29	その他	その他	RC	3	594	1991	H3	28	新	-	-	-	-	要調査	B	D	B	C	B	52	
30	30	町営海の駅住宅 B	町営海の駅住宅 B	30	30	その他	その他	RC	3	817	1991	H3	28	新	-	-	-	-	要調査	B	D	B	C	B	52	
31	31	町営平松住宅	町営平松住宅	31	31	その他	その他	RC	3	1,012	1992	H4	27	新	-	-	-	-	要調査	B	D	B	C	B	52	
32	32	元町会館・児童館	元町会館・児童館	32	32	その他	その他	S	3	544	1989	H元	30	新	-	-	-	-	要調査	C	C	B	B	A	65	
33	33	下山口会館・児童館・第3分館	下山口会館・児童館・第3分館	33	33	その他	その他	S	2	478	1997	H9	22	新	-	-	-	-	要調査	A	B	B	B	C	73	
34	34	業程会館・児童館	業程会館・児童館	34	34	その他	その他	S	2	492	2001	H13	18	新	-	-	-	-	要調査	A	B	B	A	A	84	

施設によっては、すでに築 50 年を経過している施設もあり、修繕や改修ではなく、更新（建替）や廃止の方角性が適当である場合も考えられます。「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」によれば、最も耐用年数が長い鉄筋コンクリート造の建物も 47 年が耐用年数とされており、本町の公共施設の中にはすでに耐用年数を超えた築年数の施設が存在しますので、劣化の状況と併せて施設の方角性を検討します。

ただし、廃止の方角性となる場合には、施設利用者等と丁寧な協議を行い、一方的な廃止を強いることがないよう配慮します。

基本方針③ 将来の財政状況を見据えた持続可能な公共施設の運営

10 ページの人口推計に関する記載のとおり、人口減少や少子高齢化が見込まれるため、今後、税収の減少や扶助費の増加等の影響が予想されます。

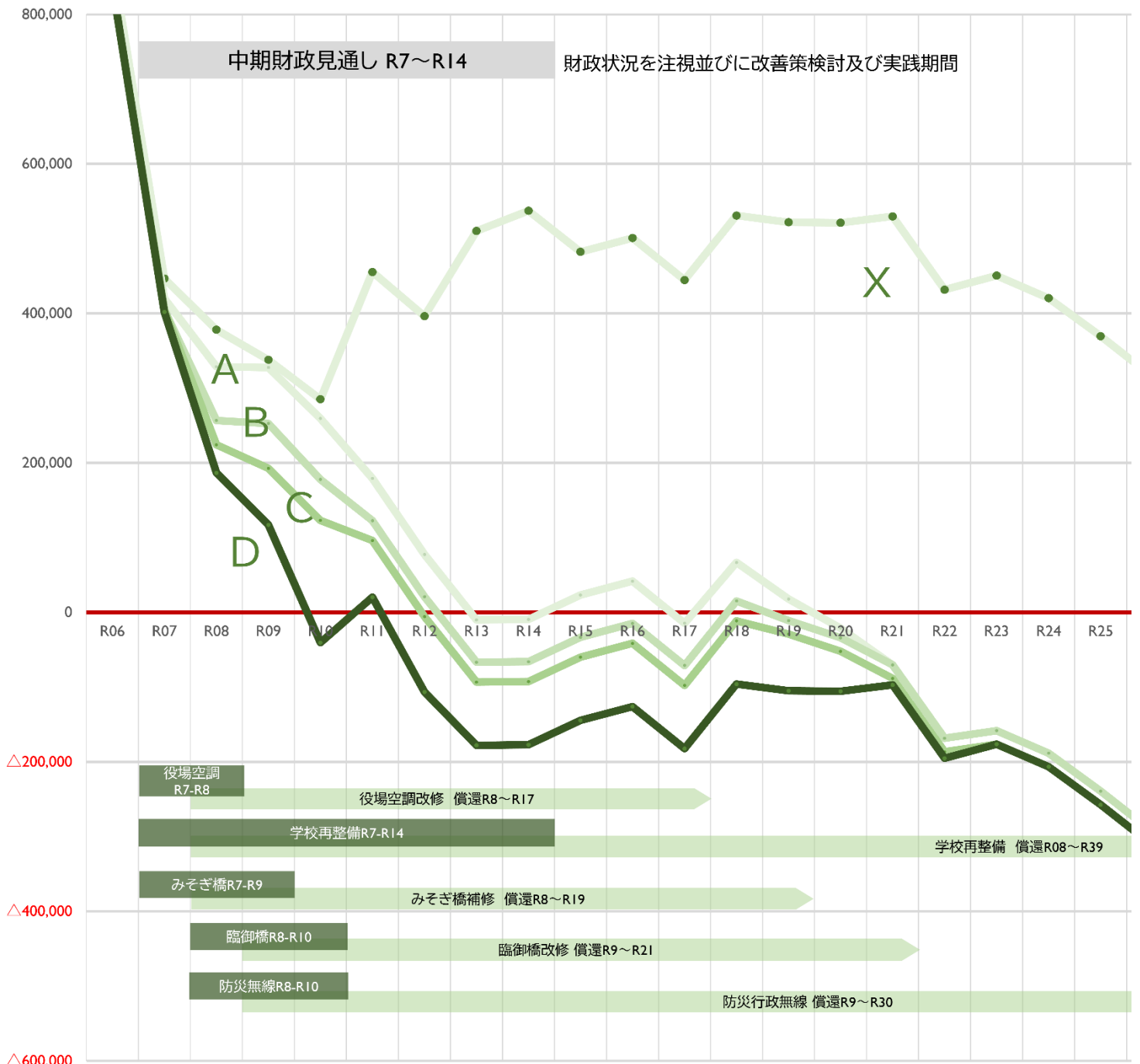
このような社会情勢による要因に加え、多くの公共施設が耐用年数を迎え、更新（建替）の時期を迎えます。公共施設の更新（建替）には多額な経費が掛かることから、財政状況や財政シミュレーションとの兼ね合いを慎重に検討する必要があります。

特に、小中一貫校整備を実施する場合には、この財政シミュレーションにおける普通建設事業費の項目に整備費用等が追加され、歳出合計が増加することを考慮し、今後の財政運営を検討する必要があります。

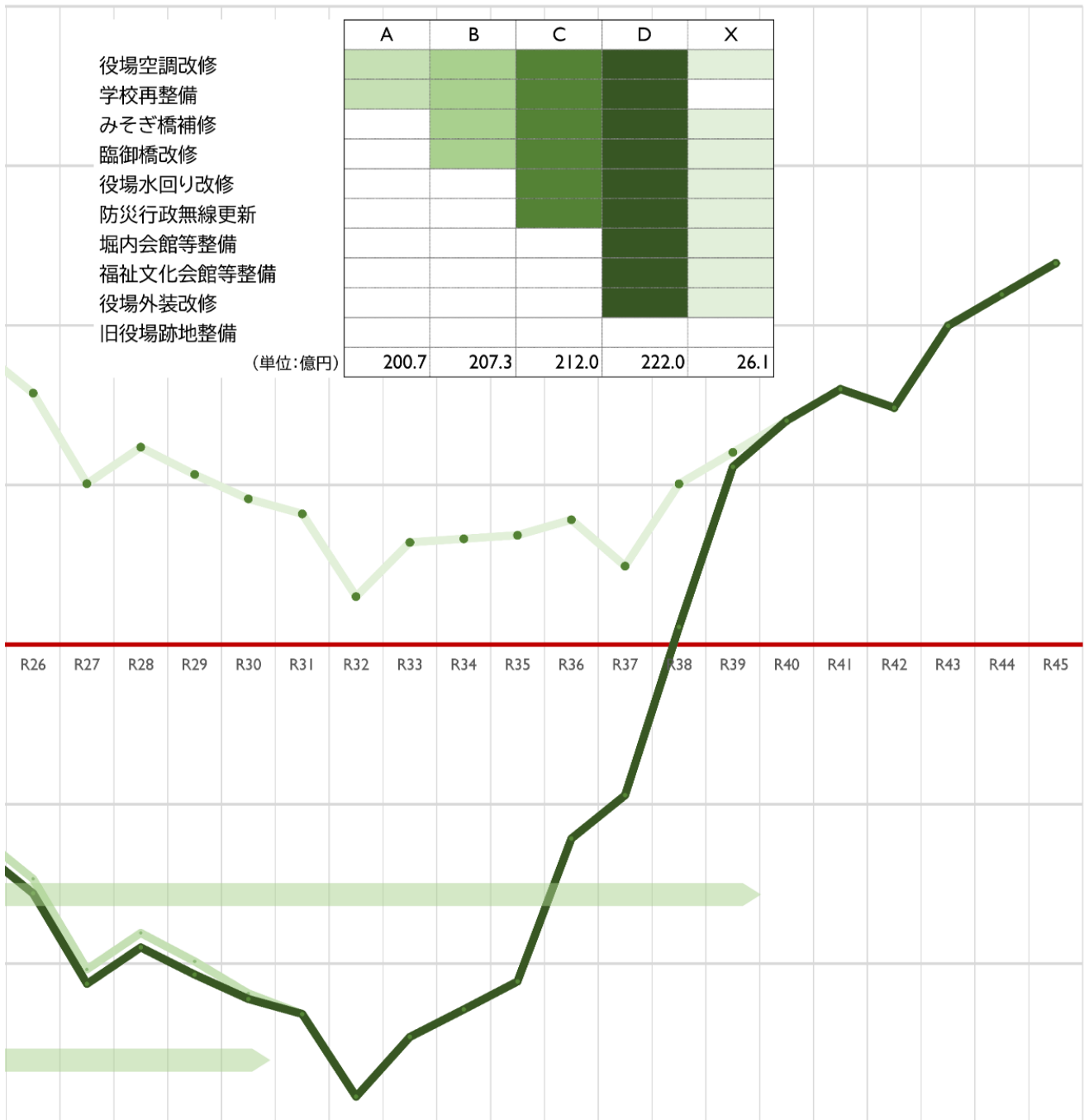
また、更新（建替）以外にも毎年の維持管理経費が発生します。持続可能な公共施設の運営のためには、公共施設の再編と併せて、運用の見直しにより維持管理費の抑制方法を検討することが重要です。

なお、次ページには令和6年から令和45年までの本町の財政シミュレーションの結果を示しています。

【参考】財政シミュレーション



		R06 2024	R07 2025	R08 2026	R09 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036	R19 2037	R20 2038	R21 2039	R22 2040	R23 2041	R24 2042	R25 2043
A	歳入	14,422,513	13,922,648	12,482,651	12,578,695	17,130,899	15,715,072	15,841,038	17,432,413	12,919,794	12,774,441	12,827,160	12,992,334	12,867,126	12,869,135	12,871,696	12,869,806	12,979,919	12,858,429	12,864,103	12,870,275
	歳出	13,583,401	13,502,880	12,154,082	12,251,059	16,871,461	15,535,757	15,763,534	17,442,501	12,929,191	12,751,162	12,785,396	13,006,804	12,800,333	12,851,268	12,892,810	12,940,025	13,148,241	13,016,590	13,052,463	13,109,489
	差額	839,112	419,768	328,569	327,636	259,438	179,315	77,504	△10,088	△9,397	23,279	41,764	△14,470	66,793	17,867	△21,114	△70,219	△168,322	△158,161	△188,360	△239,214
B	歳入	14,422,513	13,967,648	12,681,651	12,717,695	17,242,899	15,715,072	15,841,038	17,432,413	12,919,794	12,774,441	12,827,160	12,992,334	12,867,126	12,869,135	12,871,696	12,869,806	12,979,919	12,858,429	12,864,103	12,870,275
	歳出	13,583,401	13,563,080	12,424,933	12,465,024	17,065,119	15,592,302	15,820,080	17,499,046	12,985,736	12,807,707	12,841,941	13,063,349	12,851,827	12,880,148	12,905,697	12,940,025	13,148,241	13,016,590	13,052,463	13,109,489
	差額	839,112	404,568	256,718	252,671	177,780	122,770	20,958	△66,633	△65,942	△33,266	△14,781	△71,015	15,299	△11,013	△34,001	△70,219	△168,322	△158,161	△188,360	△239,214
C	歳入	14,422,513	13,967,648	12,779,151	12,867,695	17,347,899	15,715,072	15,841,038	17,432,413	12,919,794	12,774,441	12,827,160	12,992,334	12,867,126	12,869,135	12,871,696	12,869,806	12,979,919	12,858,429	12,864,103	12,870,275
	歳出	13,583,401	13,563,080	12,554,933	12,674,984	17,224,880	15,618,923	15,846,701	17,525,667	13,012,357	12,834,328	12,868,562	13,089,970	12,878,448	12,898,246	12,923,795	12,958,123	13,166,339	13,034,688	13,070,561	13,127,587
	差額	839,112	404,568	224,218	192,711	123,019	96,149	△5,663	△93,254	△92,563	△59,887	△41,402	△97,636	△11,322	△29,111	△52,099	△88,317	△186,420	△176,259	△206,458	△257,312
D	歳入	14,422,513	13,967,648	12,856,151	13,061,695	17,736,899	15,715,072	15,916,038	17,432,413	12,919,794	12,774,441	12,827,160	12,992,334	12,867,126	12,869,135	12,871,696	12,869,806	12,979,919	12,858,429	12,864,103	12,870,275
	歳出	13,583,401	13,565,863	12,669,542	12,944,594	17,777,370	15,694,754	16,022,531	17,610,235	13,096,924	12,918,896	12,953,129	13,174,538	12,963,016	12,974,063	12,977,290	12,966,860	13,175,075	13,034,688	13,070,561	13,127,587
	差額	839,112	401,785	186,609	117,101	△40,471	20,318	△106,493	△177,822	△177,130	△144,455	△125,969	△182,204	△95,890	△104,928	△105,594	△97,054	△195,156	△176,259	△206,458	△257,312
X	歳入	14,422,513	13,833,576	12,302,837	12,510,306	12,759,893	12,262,128	12,578,672	12,442,478	12,508,695	12,680,661	12,733,381	12,898,554	12,773,346	12,775,356	12,777,916	12,776,027	12,886,140	12,764,650	12,770,323	12,776,496
	歳出	13,553,701	13,387,100	11,924,748	12,172,469	12,474,754	11,806,832	12,182,492	11,932,210	11,971,396	12,198,328	12,232,561	12,453,969	12,242,448	12,253,495	12,256,722	12,246,292	12,454,507	12,314,119	12,349,992	12,407,018
	差額	868,812	446,476	378,089	337,837	285,139	455,296	396,180	510,268	537,299	482,333	500,820	444,585	530,898	521,861	521,194	529,735	431,633	450,531	420,331	369,478



単位:千円																			
R26 2044	R27 2045	R28 2046	R29 2047	R30 2048	R31 2049	R32 2050	R33 2051	R34 2052	R35 2053	R36 2054	R37 2055	R38 2056	R39 2057	R40 2058	R41 2059	R42 2060	R43 2061	R44 2062	R45 2063
12,871,948	12,969,862	12,858,660	12,877,349	12,896,278	12,910,451	13,036,060	12,940,389	12,971,508	13,002,757	13,001,388	13,120,331	12,998,259	12,993,526	13,017,502	13,036,659	13,166,617	13,043,362	13,046,896	13,050,550
13,165,579	13,376,976	13,220,061	13,274,321	13,333,604	13,373,441	13,602,685	13,432,109	13,428,826	13,424,947	13,244,483	13,309,149	12,976,271	12,770,785	12,737,007	12,716,522	12,869,765	12,643,774	12,608,047	12,572,587
△293,631	△407,114	△361,401	△396,972	△437,326	△462,990	△566,625	△491,720	△457,318	△422,190	△243,095	△188,818	21,988	222,741	280,495	320,137	296,852	399,588	438,849	477,963
12,871,948	12,969,862	12,858,660	12,877,349	12,896,278	12,910,451	13,036,060	12,940,389	12,971,508	13,002,757	13,001,388	13,120,331	12,998,259	12,993,526	13,017,502	13,036,659	13,166,617	13,043,362	13,046,896	13,050,550
13,165,579	13,376,976	13,220,061	13,274,321	13,333,604	13,373,441	13,602,685	13,432,109	13,428,826	13,424,947	13,244,483	13,309,149	12,976,271	12,770,785	12,737,007	12,716,522	12,869,765	12,643,774	12,608,047	12,572,587
△293,631	△407,114	△361,401	△396,972	△437,326	△462,990	△566,625	△491,720	△457,318	△422,190	△243,095	△188,818	21,988	222,741	280,495	320,137	296,852	399,588	438,849	477,963
12,871,948	12,969,862	12,858,660	12,877,349	12,896,278	12,910,451	13,036,060	12,940,389	12,971,508	13,002,757	13,001,388	13,120,331	12,998,259	12,993,526	13,017,502	13,036,659	13,166,617	13,043,362	13,046,896	13,050,550
13,183,677	13,395,073	13,238,159	13,290,983	13,340,465	13,373,441	13,602,685	13,432,109	13,428,826	13,424,947	13,244,483	13,309,149	12,976,271	12,770,785	12,737,007	12,716,522	12,869,765	12,643,774	12,608,047	12,572,587
△311,729	△425,211	△379,499	△413,634	△444,187	△462,990	△566,625	△491,720	△457,318	△422,190	△243,095	△188,818	21,988	222,741	280,495	320,137	296,852	399,588	438,849	477,963
12,778,168	12,876,082	12,764,881	12,783,570	12,802,499	12,816,672	12,942,280	12,846,609	12,877,728	12,908,978	12,935,352	13,072,790	12,969,734	12,993,526	13,017,502	13,036,659	13,166,617	13,043,362	13,046,896	13,050,550
12,463,108	12,674,505	12,517,590	12,570,414	12,619,896	12,652,873	12,882,117	12,718,582	12,745,197	12,771,963	12,778,884	12,974,432	12,768,462	12,752,653	12,737,007	12,716,522	12,869,765	12,643,774	12,608,047	12,572,587
315,060	201,577	247,291	213,156	182,603	163,799	60,163	128,027	132,531	137,015	156,468	98,358	201,272	240,873	280,495	320,137	296,852	399,588	438,849	477,963

第4章 各施設の方向性と将来像

対象の公共施設のうち、近い将来移転、統廃合等の見直しの必要がある施設と当面現状維持または長寿命化を図る施設に区分することができます。

特に、「近い将来見直しの必要がある施設」については、町民サービス、利便性の向上が期待できることから、その実現に向けて、本構想策定後に具体的なスケジュールやプロセスについて引き続き議論を深めていきます。

1 近い将来見直しの必要がある施設

「近い将来見直しの必要がある施設」は、次の4つとしています。

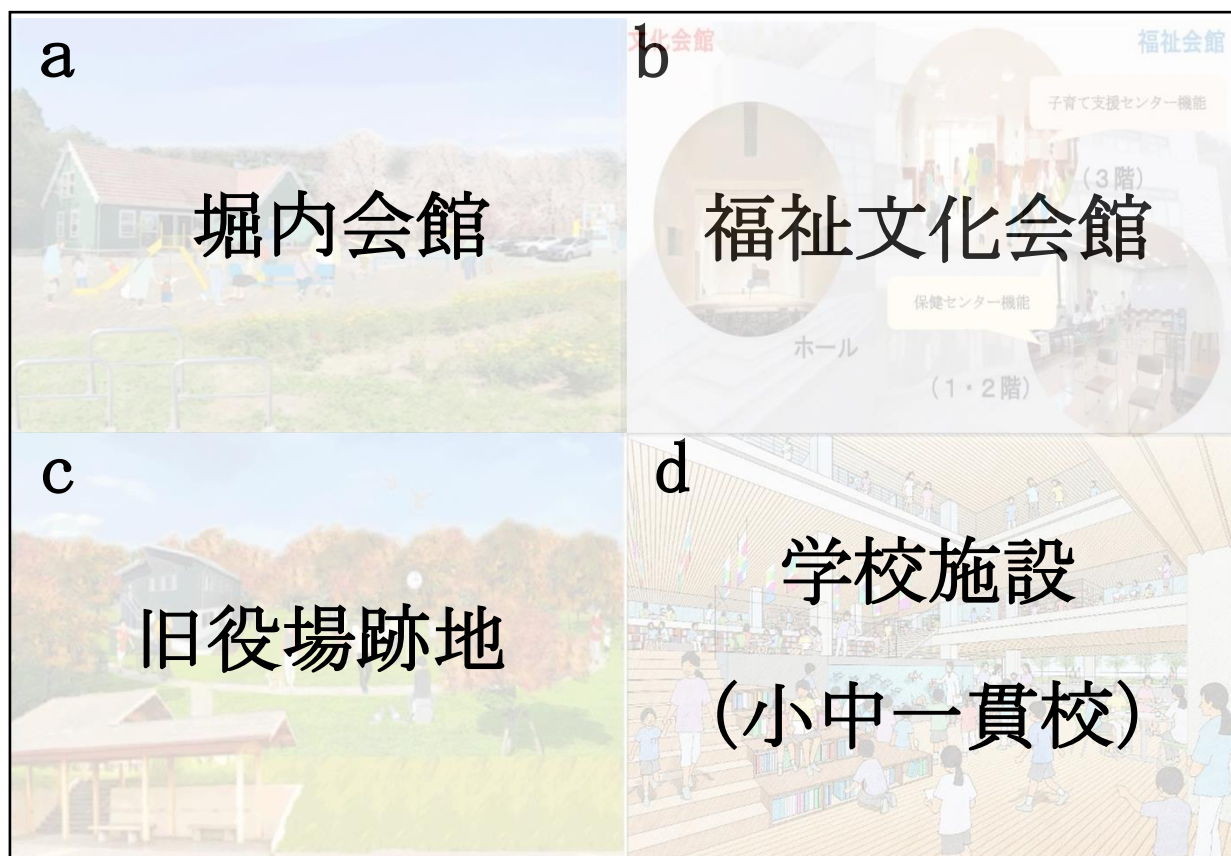
堀内会館、旧役場跡地については、新規整備により地域コミュニティ活性化に寄与します。

福祉文化会館については、保健センター機能及び子育て支援センター機能を複合化し、役場庁舎と合わせて行政機能を集約化します。

そして、学校施設（小中一貫校整備）については、新しい葉山町の象徴として様々な人が利用できる開かれた学校を目指します。

これらの各施設について、次ページ以降に「今後の方向性」、「現状と課題」及び「今後の取組み」を示しています。

図8 葉山町における近い将来見直しの必要がある施設



a 堀内会館

【今後の方向性】

- ・ 現在未登記の建物を**町所有の公共施設**とし、**堀内地区の集会施設**として整備することを目指します。
- ・ 整備においては、隣接する堀内児童遊園との**一体利用**を検討します。

図9 堀内会館整備後イメージ



【現状と課題】

町の公共施設ではなく、未登記の所有者不明の建物であることから、町が修繕・改修等を実施できていませんでしたが、老朽化が著しいことが明らかであり、地域の交流拠点として、安全・安心な施設とするために、町の公共施設として新規整備することを検討しています。

【今後の取組み】

現建物の所有権を町とした後に、解体工事を実施します。その後、新施設及び隣接する堀内児童遊園について、一体利用に向けた整備を行います。整備にあたっては、令和5年度から令和6年度に実施した意見交換会の意見や堀内会館再整備検討委員会の報告書等を参考にし、地域に愛される施設を目指します。

b 福祉文化会館

【今後の方向性】

- ・福祉会館については、「子育て支援センター機能」及び「保健センター機能」を**複合化**のうえ、**長寿命化**を図ります。
- ・文化会館については、**現状維持**とします。

図 10 福祉文化会館整備後イメージ



【現状と課題】

福祉会館には面積の広い会議室や和室の他、高齢者向けの入浴サービスのための入浴室等があり、様々な用途で利用される施設となります。

また、文化会館には本町唯一の音楽ホールが整備されており、イベント等が実施されています。

課題としては、学校施設、役場庁舎に次ぐ高額な維持管理費が挙げられます。

【今後の取組み】

「子育て支援センター機能」及び「保健センター機能」を福祉会館に複合化することで、役場庁舎周辺に行政機能を集約化します。

ただし、複合化に伴い、一定の改修が必要になるため、財政状況を踏まえた計画的な改修を実施します。なお、文化会館に関しては、当面は現状維持とし、必要な修繕を実施します。

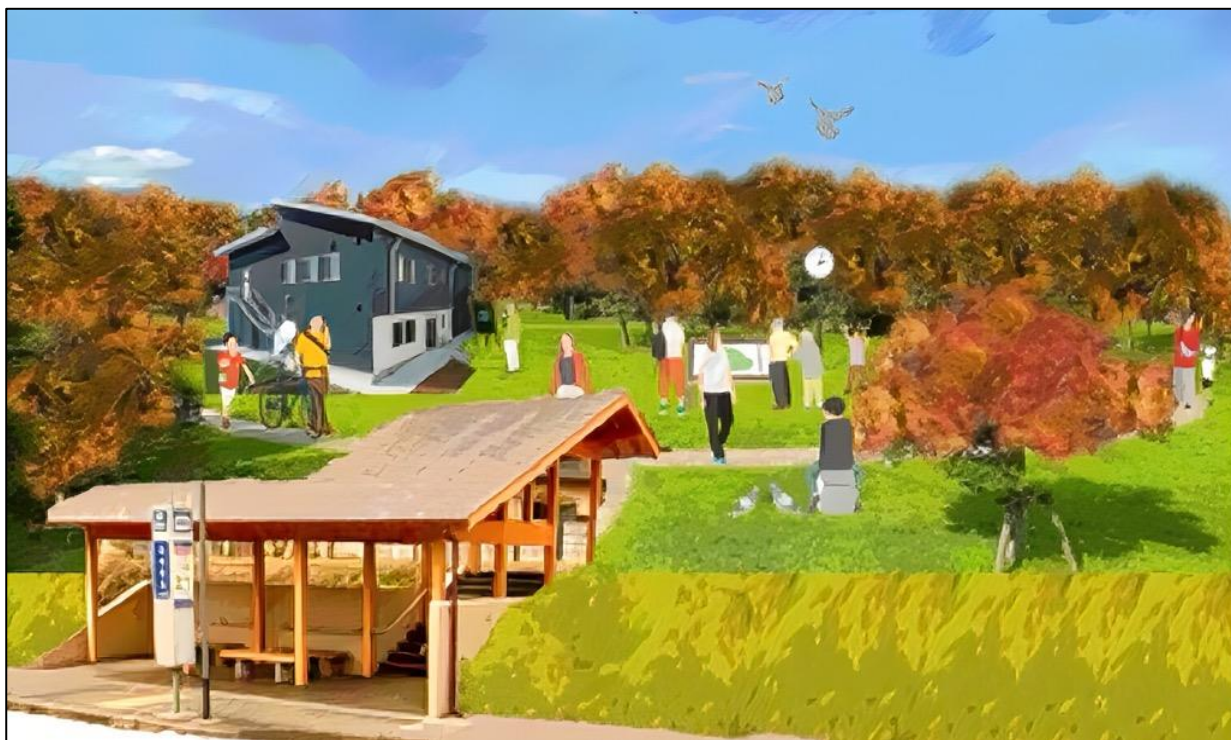
また、引き続き民間事業者参入の可能性について研究します。

c 旧役場跡地（未利用町有地）

【今後の方向性】

一色地区の**集会施設を新規に整備**し、同時に**災害時の空地**として利用できる広場として整備を行います。

図 11 旧役場跡地整備後イメージ



【現状と課題】

旧役場跡地は、平成3年に旧役場が解体された後、30年以上未利用町有地として活用の方法を検討してきました。本町の中心地に位置し、国道に面していることから、重要な土地ではありますが、長年の間、活用方法が決まっていない状況です。

【今後の取組み】

長年要望のあった、一色地区の集会施設の新規整備を目指します。整備にあたっては、民間事業者参入の可能性について研究します。

また、災害時における空地の確保が必要なことから、平常時は町民の憩いの場として活用し、災害時には、一時的な避難場所や救援物資等の置場として活用ができる広場の整備を行います。

d 学校施設（小中一貫校）

【今後の方向性】

- ・新しい時代の学びを実現し、**9年間の教育効果を最大化する学校施設**の整備を進めます。
- ・こどもや教職員にとって居心地が良く過ごしやすい空間であるとともに、**地域に開かれた**学校施設を目指します。
- ・公共施設との複合化により、地域教育・地域交流・防災拠点など**多機能な施設整備**を目指します。
- ・人口減少に伴う児童生徒数の減少に注視し、**一校先行整備方式**を軸に学校整備の検討を進めます。

図 12 小中一貫校整備後イメージ



【現状と課題】

葉山町の保有する4つの小学校と2つの中学校は、いずれも築年数が40年を超えており、更新が必要な時期を迎えています。

補強により耐震性能は満足していますが、令和元年の劣化診断調査において、屋上の防水、外壁、内部仕上げ、電気、機械設備などで劣化が進んでいる箇所が確認されたことから、緊急性等を考慮して、適宜、修繕対応を講じています。

【今後の取組み】

施設の老朽化という問題に加え、少子化や物価の上昇という社会課題を考慮して慎重に判断することが重要です。財政的な制約を考慮しながら、効率的な整備を進めるため、公共施設の複合化や地域との連携を強化するなど、地域の実情に応じた持続可能な学校整備の工夫を検討します。

◆なお、詳細は別添の「附属資料 葉山町公共施設等将来構想 学校施設」をご覧ください。

2 その他の施設等

「1. 近い将来見直しの必要がある施設」以外の各施設における今後の方向性については、次のとおりです。

行政系施設

葉山町役場庁舎

【今後の方向性】

「長寿命化」

【現状と課題】

令和5年度末時点で築39年が経過する施設であり、大規模な修繕・改修が必要な時期を迎えています。財政状況も踏まえ、計画的な修繕・改修を実施する必要があります。

【今後の取組み】

令和6年度に太陽光パネル設置工事、令和7年度から令和8年度にかけて空調設備の改修を行います。その他にも老朽化が進んでいる部位に関しては、計画的な修繕・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。

教育総合センター

【今後の方向性】

「長寿命化」

【現状と課題】

令和5年度末時点で築17年が経過する施設であり、築年数が比較的浅いことから、当面の間は劣化が進んでいる他の公共施設について修繕・改修を優先します。

【今後の取組み】

令和7年度に太陽光パネル設置工事を行います。その他の部位については、必要に応じて修繕・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。

葉山町消防庁舎

【今後の方向性】

「長寿命化」

【現状と課題】

一定程度の修繕・改修が完了している状況です。

【今後の取組み】

必要に応じて修繕・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。

行政系施設

消防分団詰所

【今後の方向性】

「現状維持」

【現状と課題】

築年数は施設ごとに異なり、一部の施設は老朽化が進んでいます。

【今後の取組み】

老朽化により業務の継続に支障がある場合は、修繕を実施します。

社会教育系施設

図書館

【今後の方向性】

「将来的に学校施設へ複合化することを検討する」

【現状と課題】

令和5年度末時点で築43年が経過する施設であり、大規模な修繕・改修が必要な時期を迎えています。特に、電気・空調等の機械設備は耐用年数を超えていることが課題となります。

【今後の取組み】

施設としては、当面は現状維持とし、必要な修繕を実施します。また、事業内容としては、学校図書室との連携強化を図ります。

並行して、将来的に学校施設へ複合化が可能か検討を行います。

葉山しおさい博物館

【今後の方向性】

「現状維持」

【現状と課題】

令和5年度に実施しました「葉山町公共施設に関するアンケート調査結果報告書」の「優先的に維持すべき施設」において、下位施設となったことを踏まえ、博物館としてのあり方の検討が必要となります。

【今後の取組み】

当面は現状維持とし、必要な修繕を実施します。

集会施設

【今後の方向性】

施設名	方向性
木古庭会館	現状維持
上山口会館	
下山口会館	
一色岡会館	
一色第2岡会館	
真名瀬会館	
木ノ下会館	
元町会館	
葉桜会館	
イトーピア会館	
長柄下会館	
一色いこいの家	
堀内いこいの家	
堀内会館	新規整備
旧役場跡地	

【現状と課題】

集会施設は、地域コミュニティを活性化するための貴重な場所であると考えています。しかし、指定管理を含めた管理運営体制においては、各町内会の負担等の課題があります。また、多くの施設が築30年以上となるため、今後の修繕や更新（建替）において多額の費用が発生することが見込まれます。

【今後の取組み】

基本的には現状維持の方向性としていますが、施設の利用ができなくなる程の老朽化が進んだ場合の方向性（建替、集約化、廃止等）を課題と捉え、これから町と町内会や利用者等により検討を進めたいと考えています。

また、一色及び堀内のいこいの家については、寄贈による施設ではありますが、築60年程度で老朽化が進んでいることから、他の施設の状況を見ながら、随時方向性を検討します。

なお、新規整備の堀内会館及び旧役場跡地については、各ページに記載のとおりです。

滝の坂住宅・平松住宅

【今後の方向性】

「長寿命化」

【現状と課題】

現状の戸数は、滝の坂住宅が 22 戸、平松住宅が 15 戸の合計 37 戸です。いずれの住宅も満室の状況です。過去 5 年間の平均応募倍率は 4.1 倍であり、需要度は高いことがわかります。

しかし、施設の老朽化が進行していることから、必要な修繕・改修を検討する必要があります。

【今後の取組み】

令和 6 年度末に策定しました「葉山町町営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な修繕・改修を検討し、施設の長寿命化を図ります。

保健センター

【今後の方向性】

「保健センター機能を福祉会館 1 階及び 2 階に移設」

【現状と課題】

現在の保健センターは昭和 62 年に建築し、令和 5 年度末時点で築 36 年が経過する施設となります。施設としては将来的にも利用することが可能な状態ですが、特定の事業のみ行われている状況です。

【今後の取組み】

葉山町役場庁舎周辺に行政機能を集約化し、利用者の利便性の向上を図るため、福祉会館の 1 階及び 2 階を移設先の候補とします。福祉会館 1 階及び 2 階に保健センター機能を移設する場合、調理室の新設等の一定の改修を行う必要があります。なお、既存敷地については、売却することも視野に入れて検討を進めます。

児童館・青少年会館

【今後の方向性】

「学校再整備に伴い、学校施設内で学童クラブを実施」

「児童館機能は、現状維持」

施設名	方向性
木古庭児童館	現状維持
上山口児童館	
下山口児童館	
元町児童館	
葉桜児童館	
芝崎児童館	
青少年会館	

【現状と課題】

多くの子育て世帯が児童館を利用しており、令和5年度に実施しました「葉山町公共施設に関するアンケート調査結果報告書」の「優先的に維持すべき施設」において、図書館、福祉文化会館に次いで多くの回答がありました。

しかし、指導員の人件費等の支出金額が大きいことが課題であり、民間企業との役割分担等、持続可能な運営方法を検討する必要があります。

【今後の取組み】

学校再整備に伴い、学童クラブを学校施設内で実施することにより、利用者の利便性の向上を図ります。実施にあたっては民間企業の参入も検討します。

また、施設としての方向性は全て現状維持としていますが、集会施設と複合している施設が多くあることから、集会施設と同様に施設の利用ができなくなる程の老朽化が進んだ場合の方向性（建替、集約化、廃止等）を課題として捉え、これから町と利用者等により検討を進めたいと考えています。

子育て支援センター（ぽけっと）

【今後の方向性】

「子育て支援センター機能を福祉会館 3 階に移設」

【現状と課題】

現在の子育て支援センター（ぽけっと）は昭和 48 年に建築し、令和 5 年度末時点で築 51 年が経過する施設となります。老朽化が著しく、早急な施設修繕あるいは移設等の対応が求められます。子育て支援施設として安全・安心な環境を確保することが必要となります。

【今後の取組み】

葉山町役場庁舎周辺に行政機能を集約化し、利用者の利便性の向上を図るため、福祉会館の 3 階を移設先の候補とします。福祉会館 3 階に子育て支援センターを移設する場合、レイアウト変更等の一定の改修を行う必要があります。

なお、既存敷地については、売却することも視野に入れて検討を進めます。

たんぽぽ教室(児童発達支援事業)

【今後の方向性】

「長寿命化」

【現状と課題】

たんぽぽ教室は、教育総合センターの3階で未就学児が小集団の中で生活習慣、遊び、運動、コミュニケーションなどの必要な力を育み、家庭や地域の中で十分に力を発揮できるよう、町が運営をしています。今後は、官と民による運営の切り分けを検討する必要があります。

【今後の取組み】

施設としては、教育総合センターと複合施設であることから長寿命化を図ります。また、事業内容としては、児童発達支援事業の運営を民間企業が行っており、民間企業による運営の可能性を研究します。

保育園（葉山保育園）

【今後の方向性】

「長寿命化」

【現状と課題】

本町唯一の公立保育園として教育総合センターの1階に位置します。より良い園庭の整備や、保育士の人材確保等の課題を、必要に応じて検討する必要があります。

【今後の取組み】

施設としては、教育総合センターと複合施設であることから長寿命化を図ります。また、事業内容としては、今後の児童数の推移により、将来の保育園のあり方を検討します。

南郷上ノ山公園

【今後の方向性】

「長寿命化」

【現状と課題】

本町において、28.8ヘクタールを有する最大規模の都市公園ですが、どのような都市公園としていくべきかあり方を検討する必要があります。

【今後の取組み】

誰でも利用しやすいインクルーシブ遊具の設置を行い、より魅力的な都市公園にするために、民間事業者の参入を含めた検討を行うとともに、南郷上ノ山公園のあり方検討を行います。

また、計画的な公園整備の実施のため、令和7年6月に長寿命化計画を策定しました。

葉山しおさい公園

【今後の方向性】

「現状維持」

【現状と課題】

御用邸と隣接する都市公園であり、町直営により運営していますが、どのような都市公園としていくべきかあり方を検討する必要があります。

【今後の取組み】

当面は現状維持とし、必要な修繕を実施します。また、民間事業者参入の可能性について研究します。

旧葉山はばたき（未利用施設）

【今後の方向性】

「民間事業者に貸付」

【現状と課題】

令和4年9月に、障害者支援施設として指定管理をしていた事業者が移設したことに伴い、現在は利用されていない状態です。長い間、施設を利用しない状態が続くと施設の状態が悪化していくため、早急に施設の活用方法を決定する必要があります。

【今後の取組み】

令和5年度から令和6年度にかけて町民との意見交換会を実施しました。様々な活用方法に関する意見がありましたが、多様な世代が気軽に立ち寄ることができる施設にして欲しいとの意見が多くありました。

その結果を受けて、地域住民を中心とした町民に対し、どのようなサービスを還元できるかといった項目を重要視したプロポーザルを行ったうえで、民間事業者に貸付を行うこととしました。

堀内防災広場（未利用町有地）

【今後の方向性】

「町直営による駐車場運営」

【現状と課題】

公園の一部の扱いとなっていますが、現地はアスファルト敷の広場として事業者の資材置場や町内会のイベント等に利用されています。一定規模の広さを有する未利用町有地として活用方法を検討する必要があります。

【今後の取組み】

本町の公共施設の多くは老朽化が進行しているものの、少なくとも今後10年間は現状維持（一定の修繕を含む）として利用する施設が大半であることを考慮し、原状復帰がしやすい駐車場として運営することで、土地の有効活用を図ります。

長柄ゲートボール場（仮称）（未利用町有地）

【今後の方向性】

「現状維持」

【現状と課題】

貸付地として誰でも利用できる広場として貸付を行っています。しかし、今後の活用方法は決まっていない状況です。

また、長柄地区においては、葉桜地区やイトーピア地区を除く、長柄下地区に集会所や公園が少ないことを地域の課題として捉えています。

【今後の取組み】

上記のとおり、長柄下地区には集会施設や公園が少ないことを課題として捉え、当該地を集会所や公園として整備することを検討しましたが、立地条件が悪く、適当ではないと判断しました。

そのため、当面の間は、平常時は誰でも利用できる広場として貸付を行い、災害時には、資材置場等の活用ができる広場とします。

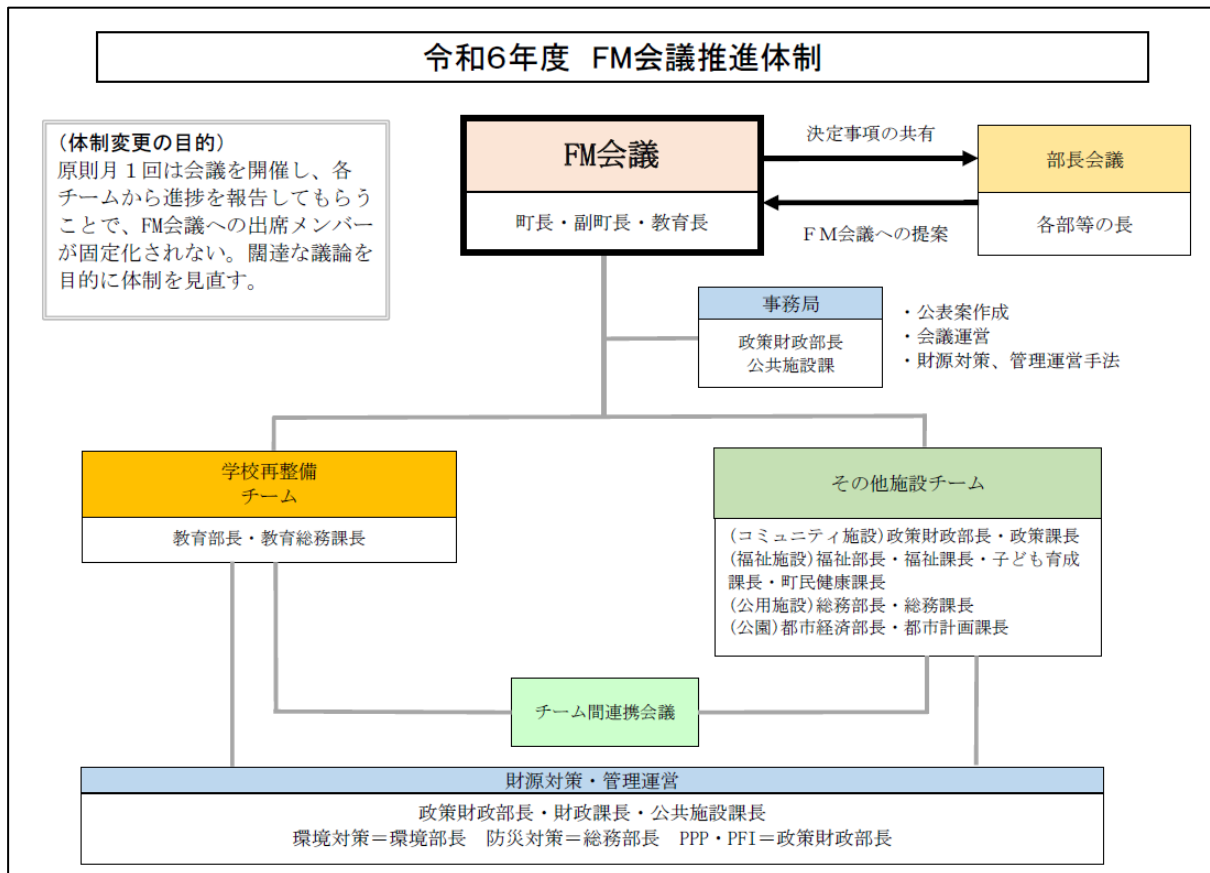
【資料編】

【資料１】 F M会議の組織図

【資料２】 葉山町の公共施設等に関するアンケート調査結果

※【資料２】については、公共施設等総合管理計画（追補版）より抜粋

【資料1】FM会議の組織図



【資料2】葉山町の公共施設等に関するアンケート調査結果

本町が管理する公共施設等に対する利用状況や今後のあり方などについて、町民を対象に「葉山町の公共施設等に関するアンケート調査」を実施しました。

この調査は、広く町民の意見を把握し、今後の施設の方針を検討するための基礎資料として活用することを目的としています。

(1) 調査概要

- ・対象人数：1,500人
- ・抽出方法：18歳以上の町内在住者の中から無作為抽出
- ・調査期間：令和5年9月20日～令和5年10月18日
- ・配布方法：郵送
- ・回答方法：郵送またはWeb
- ・回収数：789人(回収率52.6%)

うち郵送649票(82.3%)、Web140票(17.7%)

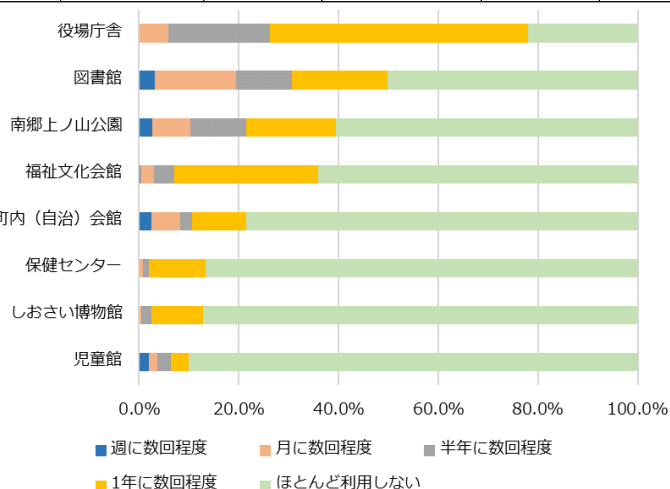
(2) 回答結果

① 公共施設の利用状況について

対象とした公共施設のうち、利用した人の割合^{1※}が最も高かったのは、「役場庁舎」で、以下、「図書館」、「南郷上ノ山公園」、「福祉文化会館」の順でした。

公共施設の利用状況について

	児童館	しおさい博物館	保健センター	町内(自治)会館	福祉文化会館	南郷上ノ山公園	図書館	役場庁舎
週に数回程度	1.9%	0.0%	0.0%	2.4%	0.3%	2.7%	3.1%	0.1%
月に数回程度	1.8%	0.5%	0.7%	5.9%	2.6%	7.5%	16.4%	5.8%
半年に数回程度	2.7%	2.0%	1.2%	2.4%	4.1%	11.3%	11.2%	20.3%
1年に数回程度	3.5%	10.3%	11.4%	10.8%	28.9%	18.0%	19.2%	51.8%
ほとんど利用しない	90.1%	87.1%	86.7%	78.5%	64.2%	60.5%	50.2%	21.9%



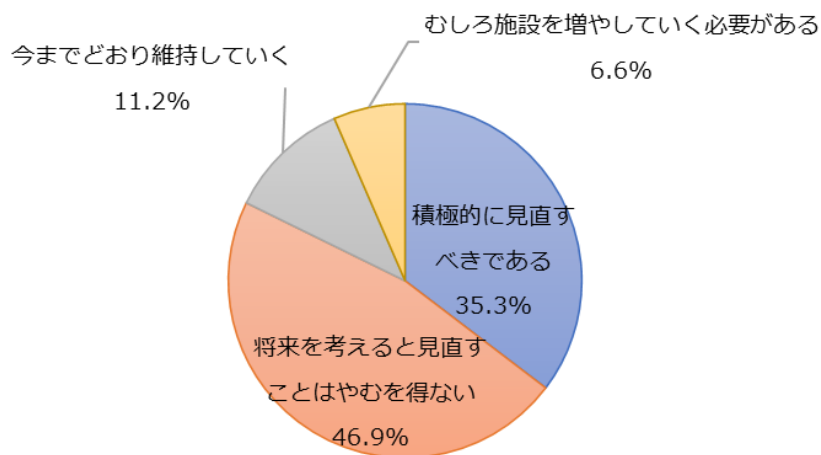
^{1※} 「ほとんど利用しない」以外の回答をした人数の合計

② 公共施設の将来について

人口減少、少子高齢化により、提供する行政サービスが変化していくことが想定される中、将来を見据え、公共施設のあり方を見直していくことについて問いました。

将来を考えると見直すことはやむを得ない（46.9%）と、積極的に見直すべきである（35.3%）を合わせると8割を超える結果となりました。

公共施設の将来について

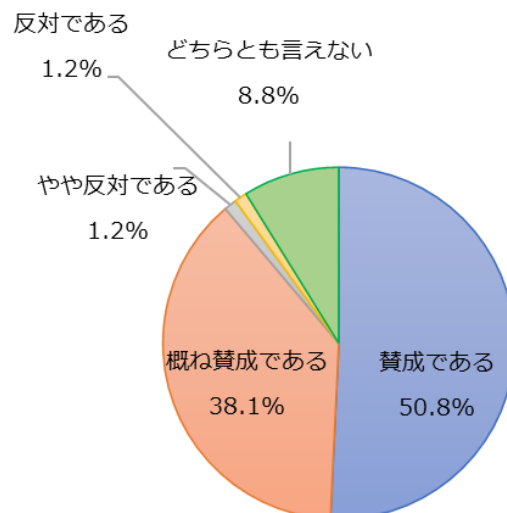


③ 公共施設の複合化、多機能化について

一つの施設で複数の行政サービスを提供できるようにする「複合化」や、時間帯によって用途を変えて使用する「多機能化」等の手法を活用することについて問いました。

賛成である（50.8%）と、概ね賛成である（38.1%）を合わせて9割近くの人が賛成している結果となりました。

公共施設の複合化、多機能化について

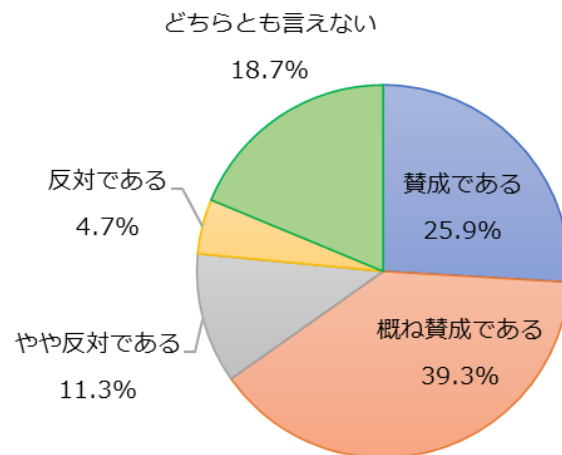


④ 公共施設の運営について

町が担っている公共施設の維持管理・運営を民間の事業者やNPO、地域住民等が担うことについて問いました。

賛成である(25.9%)、概ね賛成である(39.3%)を合わせて6割以上の方が賛成であるものの、やや反対、反対も一定数いる結果となりました。

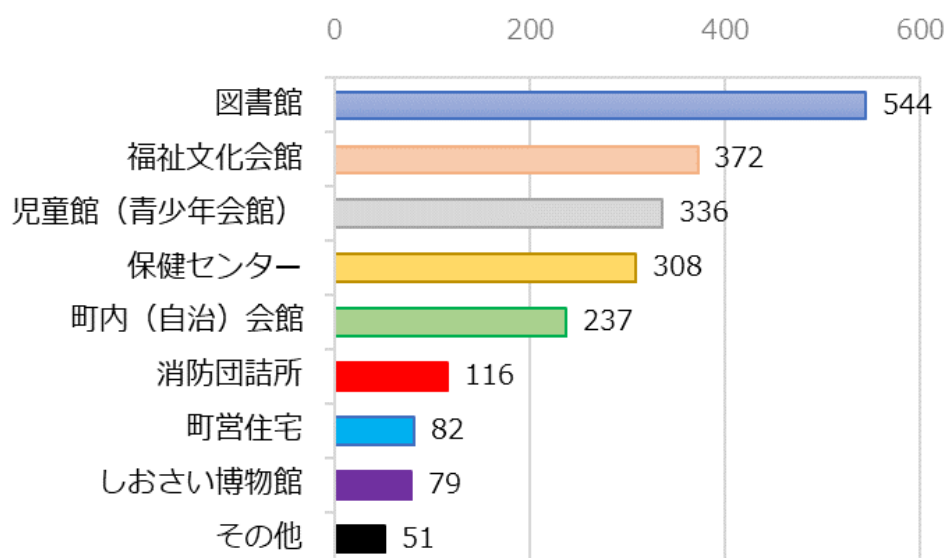
公共施設の運営について



⑤ 優先的に維持すべき施設について

優先的に維持すべき施設については、図書館が最も多く、福祉文化会館、児童館（青少年会館）と続く結果となりました。

優先的に維持すべき施設について



⑥ あったらよいと思う施設について

あったらよいと思う施設については、回答方法を自由記述としました。回答を種別に分類したところ、あったらよいと思う施設はスポーツ施設（特に体育館、プール）が3割を超える(35.8%)結果となりました。行政・コミュニティー施設、医療施設などを求める回答も多くありました。

また、その他では温泉施設を望む回答も多くありました。

あったらよいと思う施設について

